

—平成30年度 決算の概要—

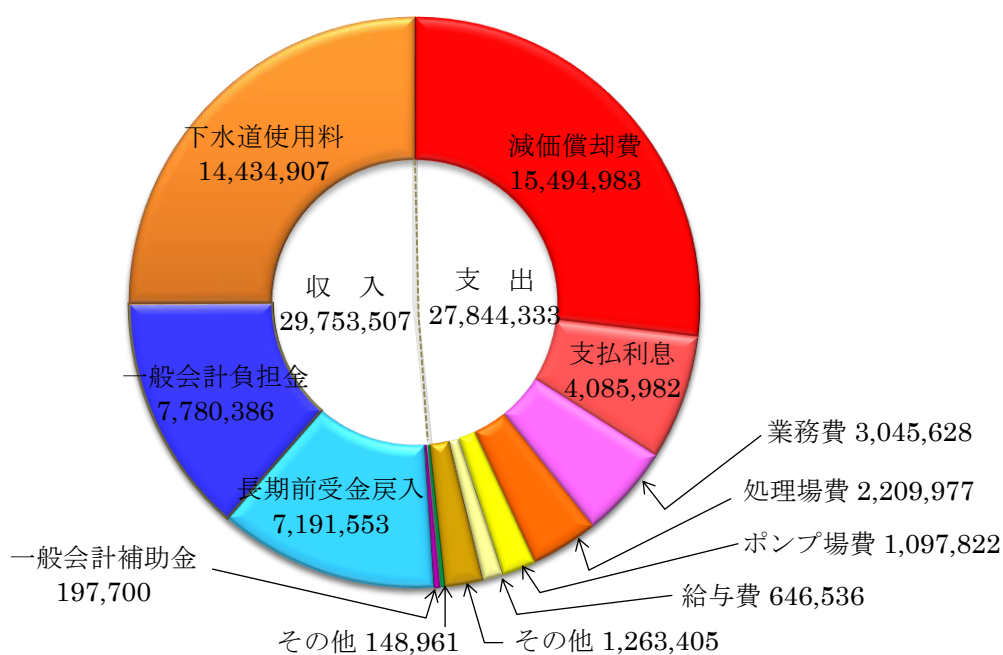
※ 下水道事業会計は、一般会計とは別に会計を設け、民間企業と同様の会計方式が用いられています。
そして内訳は、**収益的収支**と**資本的収支**に分けられます。

1. 収益的収支

※ 収益的収支とは、生活排水などの汚水の処理や降雨時などの雨水の処理に関するお金のことで
す。

<収益的収支 決算>

平成30年度決算 収益的収支 （単位:千円、税込）



<収入>

(税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
	千円	千円	千円
第1款 下水道事業収益	30,360,793	29,753,507	△ 607,286
第1項 営業収益	22,580,557	22,274,496	△ 306,061
第2項 営業外収益 他	7,780,236	7,479,011	△ 301,225

※ 営業収益：使用者の皆様からの**下水道使用料**や一般会計からの**負担金**など
 ※ 営業外収益：市の一般会計からの**補助金**など

<支出>

(税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	千円	千円	千円
第1款 下水道事業費用	28,960,181	27,844,333	1,115,848
第1項 営業費用	24,579,153	23,538,458	1,040,695
第2項 営業外費用 他	4,381,028	4,305,875	75,153

※ 営業費用：下水道関係施設の維持管理費と減価償却費など

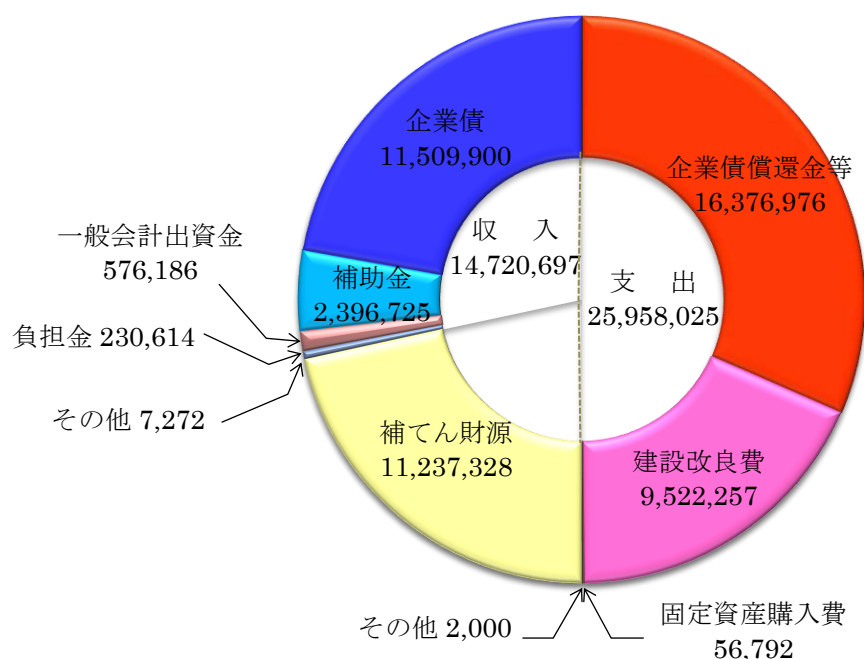
※ 営業外費用：企業債(建設するときに借りたお金)の支払い利息など

2. 資本的収支

※ 資本的収支とは、施設の建設に関するお金のことです。

<資本的収支 決算>

平成30年度決算 資本的収支 (単位:千円、税込)



<収入>

(税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	予算額に比べ 決算額の増減
	千円	千円	千円	千円
第1款 資本的収入	23,633,884	14,720,697	6,698,591	△ 2,214,596
第1項 企業債	17,789,972	11,509,900	4,351,500	△ 1,928,572
第2項 他会計出資金	599,739	576,186	0	△ 23,553
第3項 補助金	5,046,675	2,396,725	2,255,601	△ 394,349
第4項 負担金 他	197,498	237,886	91,490	131,878

※ 企業債：施設の建設・改良等のために借りたお金など

※ 他会計出資金：一般会計からの出資金

※ 補助金 : 国からの交付金など

<支出>

(税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
	千円	千円	千円	千円
第1款 資本的支出	34,207,779	25,958,025	6,706,483	1,543,271
第1項 建設改良費	17,744,460	9,522,257	6,706,483	1,515,720
第2項 固定資産購入費	69,596	56,792	0	12,804
第3項 償還金 他	16,393,723	16,378,976	0	14,747

※ 建設改良費 : 下水道施設(下水道管、ポンプ場施設、処理場施設)の建設や改良・更新にかかる費用など

※ 固定資産購入費 : 事業上必要な固定資産(土地や自動車、器具、施設の利用権など)の購入費用など

※ 償還金 : 企業債の返済金など

—平成30年度の主な事業—

下水道は、快適で衛生的な生活環境への改善、雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全のため、欠くことのできない重要な都市基盤施設であるとともに、地球環境に配慮した循環型社会の形成に大きな役割を担っています。

本市では、下水道を千葉市新基本計画に基づく第3次実施計画において、安全で災害に強いまちづくりの推進及び快適な生活環境の整備のために必要な施設として位置づけ、整備を推進してまいりました。

この結果、平成30年度末の事業計画面積 13,121 ヘクタールのうち、12,282 ヘクタールが整備済となり、整備率は 93.6 パーセントとなりました。

また、行政区域内人口 970,455 人に対し、整備区域内人口は 944,428 人となり、下水道処理人口普及率は 97.3 パーセントとなりました。このうち下水道接続人口は、前年度より 2,652 人増加し 939,976 人となり、接続率は 99.5 パーセントとなりました。

<主要な建設改良事業>

▼下水道管工事費 48億3,318万円

○下水道排水施設工事(芦太雨水1号幹線29-1工区)

○下水道施設改良工事(幸町30-1工区) など

▼ポンプ場工事費 8億1,165万円

○幸ポンプ場外4遠方監視制御設備改築工事

○大椎ポンプ場受変電設備改築工事 など

▼処理場工事費 31億7,790万円

○中央浄化センター水処理施設建設工事

○南部浄化センター計装設備改築工事 など

今後も、下水道事業中長期経営計画に基づき、建設投資の適正化や経営の合理化・効率化を図りながら、より安全で安心な都市環境及び衛生的な生活環境の実現と公共用水域の水質の保全に資するため、雨水排除による浸水防除及び耐震化、未普及地域の解消並びに施設の高度処理化などの推進に努めてまいります。

※ なお、中央コミュニティセンター2階、市政情報室で資料の閲覧が可能ですのでご利用ください。